



トヨタ ランドクルーザー プラド

専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

シートカバー装着前に必ずお読み下さい

- ・本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）してお客様のシートパターンに合うことを確認して下さい。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように番号の入ったタグが商品の裏側に付けられています。仮合わせの時点で製品に何等かの支障があった場合はお買い上げ頂いたお店、または弊社までご連絡下さい。
事前に連絡なく装着された後での製品に対しての返品・交換等につきましてはお受け出来ません。お客様の注文間違いによつての製品間違いの返品・交換等は商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承下さい。
- ・本製品は梱包時にシワが入る場合があります。ある程度は正常に取り付けを行うことで生地が伸び、シワは解消できますが、まれに跡が残る場合があります。予めご了承下さいますようお願いいたします。
- ・本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定穴やバックテーブル等）を損なわないように作成していますので、背もたれや座面に穴加工されているタイプのシートカバーがあります。



警告

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ開閉部分に、SRSサイドエアバッグ対応用の縫製糸を使用しています（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）。そこは他の部位に比べて縫製糸が切れやすくなっています。取り付け時には過度の力がかからないようご注意ください。また、シートカバーを正しく取り付けないと衝突した時などにサイドエアバッグが正常に作動せず重大な傷害に及ぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあり危険です。

*サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全規格がないため自社独自の対応規格となります。

本製品に関する注意事項

- ・本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや、本革側に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- ・本製品を直射日光に長時間当てられると、表面のツヤ変化・変形・変色が生じることがあります。また高温、多湿のところ放置されると硬化や収縮、カビの発生が生じることがあります。
- ・本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残ってしまう場合があります。装着されてから1~2週間ほどで臭いが緩和されてきますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間ほど保管してから装着して下さい。また本製品は塩化ビニルレザーを使用していますので燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で燃やさずに必ず各自治体の処理方法に従って下さい。

パーツオーダーについて

- ・どうしても取れない汚れや破損に対して、当社では各部品単品での販売も承っております。但し、お客様の製品の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承下さいますようお願いいたします。

生地別メンテナンス方法

- ・生地別メンテナンス方法を記載していますが、シートカバーが汚れてしまった場合はすぐに乾いた布などで拭き取って下さい。時間が経過してしまうと下に記載しているメンテナンス方法でも汚れが取れない恐れがあります。
* 本製品は水洗いやドライクリーニングなどの洗濯は出来ません。

PVCレザー部分

- ・中性洗剤を薄めたものを柔らかい布に付けて拭き取って下さい。シンナー等の有機溶剤は生地を傷つけたり、ツヤがなくなる恐れがありますので使用しないで下さい。

本革・ECT革生地部分

- ・乾いた布等で表面を軽く拭いて下さい。または、市販されている本革クリーナーを目立ちにくい部分で試されてからご使用下さい(中には合わないものもあります)。クリーナーをご使用後は乾いた布等で拭き残しのないように必ず拭き取って下さい。また、溶剤類のほか漂白剤は使用しないで下さい。

スエード・アルカンターラ生地部分

- ・40度程度のぬるま湯を布に染み込ませて固く絞り、全体を拭いて下さい。(毛羽が強くとれずに拭き取ることが大切です。)その後、シートが乾いたことを確認してからエチケットブラシで毛並を整えるようにブラッシングをして下さい。このお手入れは月一回くらいの頻度で行なうと効果的です。

シートカバー装着時に関する注意事項

- ・当社のシートカバーはフィッティングを重視して作っています。カバー全体に均一に力をかけて取り付けて下さい。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張り過ぎると抜けてしまったり、切れてしまう恐れがあります。
- ・シートカバー(スエードタイプ・本革パンチングタイプ・ECT・アルカンターラセクション)の背もたれ上部分に加工しているヘッドレスト穴は、生地が伸びにくい為、無理に入れ込もうとすると破れてしまう恐れがあります。
- ・シート本体のパーツ(プラスチック部品やアームレスト等)を取り外す時に無理に外そうとするとシート本体に傷がついたり、パーツ自体が破損してしまう恐れがあります。
- ・シートカバーを取付けている最中にシート本体の金属部分やプラスチック部分に接触して怪我をする恐れがあります。
- ・取付説明書の順番にカバーを付けて頂くと取付作業がスムーズに進みますので当社では順番通りの装着をオススメしています。また、カバーを取り付ける際には明るくて、地面が平らな広いスペースで、車内のライト類を消して(長時間扉が開いているとバッテリーがあがったり、弱る原因になるため)取り付けを行なって下さい。
- ・当社シートカバーはフィッティングを重視して作っているため、カバーを一度取り付けた後、元に戻した際(カバーを取り外した際)にシート自体にシワが残る場合があります。予めご了承下さい。
- ・製品の改良等により本取扱説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合がございます。その際はご迷惑おかけいたしますが弊社までお問い合わせ下さいますようお願いいたします。

シートカバー取付補助ビニール使用方法

背もたれ部分の取り付けの際、シート本体とシートカバーの摩擦によりスムーズに入らない場合があります。その場合、付属のビニールを下記の手順で使用していただくと取り付けが容易になります。

※ベーシックシリーズには取り付け補助ビニールは付属しておりません。



①背もたれカバーを取り付ける前に補助ビニールを被せます。補助ビニールは後で取り外すのでカッター等で両サイドに切込みを入れて取り外し易いようにしておきます。



④ヘッドレストの台座部分を穴から取り出します。生地へのびを利用して横からもぐりこませるように取り出して下さい。無理に入れると破れる恐れがありますのでご注意ください。



②背もたれのカバーをシートのラインに合わせてながら被せます。肩口部分にたるみがなくなるまでしっかりと入れ込んで下さい。



⑤背もたれの曲線にたるみなくカバーを密着させながらマジックテープ部を背面と座面の間に入れ込みます。(車種により取付方法が異なります。)



③シートカバーをしっかり入れ込むことができたなら、ビニールを引っ張り取り外します。



⑥入れ込んだ部分を取り出しマジックテープで固定します。

コンビニフックについて

一部車種の1列目背面にあるフック部分は穴あけ加工がされておりません。フックがネジで固定されている場合、カバーを加工すれば使用することが可能です。



- ①ネジを外します。ツメで固定されている場合がありますので、取り外しには十分ご注意ください。ツメが破損すると元通りに取り付けられなくなる場合もあります。



- ②背もたれカバーを取り付けます。シート本体とカバーがずれていないかをよく確認した上で、フックの位置に切り込みをいれます。



- ③切り込み部分にフックを取り付けて完成です。

1 列目座面



①始めにシート座面裏にゴムで固定されているカバーを外します。カバーはゴムでシート座面裏の金属部分に引っ掛け固定されています。



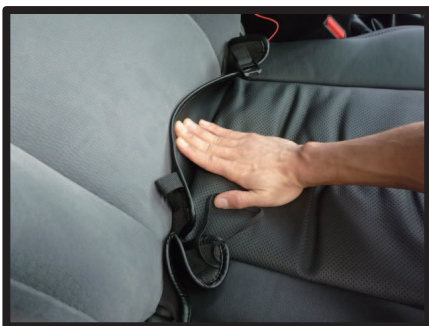
④背面から入れ込んだ生地を引き出します。矢印部分にサイドエアバッグの配線がありますので、配線に気を付け、配線を交わして生地を引き出して下さい。



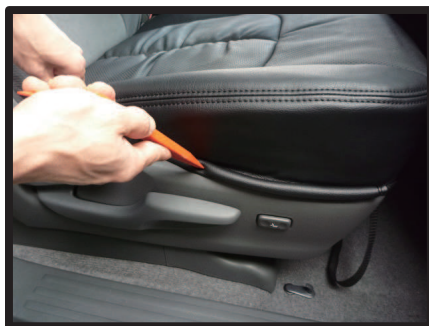
②カバーを裏返してシートのラインに合わせます。シートのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



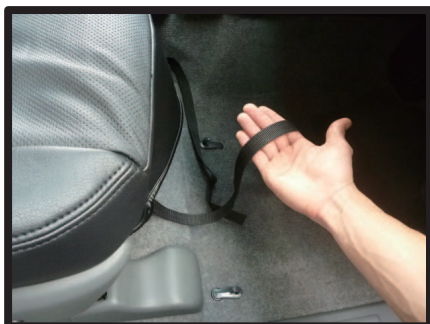
⑤カバー内側面のプラスチックフックを座面下部の金属パイプ部に固定します。（運転席側は、少し生地を巻き込むみながらの固定になります）



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行って下さい。



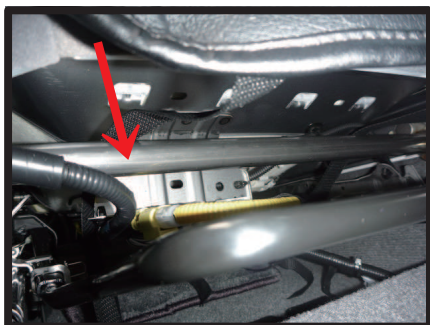
⑥カバー外側側面の生地をプラスチック部の中へ入れ込みます。ヘラなどを使用すると作業が行いやすくなります。



⑦カバー前方に2本のベルトが付いています。



⑩ベルトは①→②→③の手順で受け側のバックルに通します。通したベルトを引くことでカバーの前後が固定されます。ベルトは強く引きすぎると切れますので、ご注意ください。



⑧ベルトはスライドレバー、矢印部分の金属バーの上を通しシート背面へ回します。



⑪⑤で引き出した生地についているゴムに、付属のS字フックを取り付けます。S字フックは座面裏の金属部分に引っ掛け固定します。



⑨背面からベルトを引き出し、固定します。



⑫カバーのラインを整えて1列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

1 列目背もたれ



①カバーを半分ほど折り返してシートにかぶせます。この際シートの肩口までしっかりと生地が張るようにかぶせて下さい。



④ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側に生地をしっかりと入れ込み、生地伸びを利用して台座を取り出します。



②シートのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。この際1ページの①で外したカバーは、上へめくり上げ、背もたれカバーの中へ入れ込んで下さい。



⑤①→②→③の手順でカバーをシートに馴染ませていきます。シート側面の生地がしっかりと張るまで行って下さい。



③背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



⑥③で入れ込んだ生地を背面から引き出します。矢印部分にサイドエアバッグの配線がありますので、配線に気を付け、配線を交わして引き出して下さい。



⑦⑥で引き出した生地とカバーの背面下(ポケット下の裏)をマジックテープで固定します。



⑩カバーのラインを整えて1列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。



⑧カバー背面下の生地に付いているゴムに付属のS字フックを取り付けます。S字フックは座面裏の金属部分に引っ掛け固定します。



⑨シート背面下は図のように収まります。

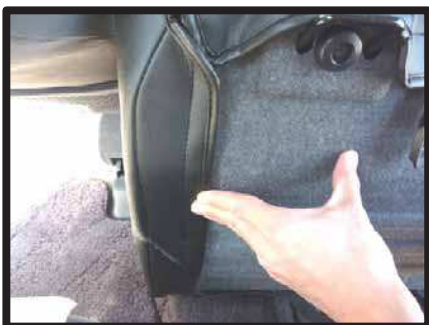
2列目座面



①座面を跳ね上げて、座面シート全体を包み込むようにカバーをかぶせます。図は座面シート内側です。



④シート本体に直接マジックテープで固定します。



②シートを覆ったカバーを座面裏でシート本体に直接マジックテープで固定します。



⑤シートを跳ね上げる際に使用するベルトを、カバーの加工穴から取り出します。



③内側をかぶせたら、シートの外側へカバーをかぶせていきます。



⑥カバーの前後をベルトで固定します。



⑦座面裏は図のようになります。



①丸印で囲んだシートベルトの付け根部分をラチェットレンチ等を使用して外します。



⑧カバーのラインを整えて2列目運転席側座面の完成です。
助手席側は一部形状が異なりますが同様の固定方法で取り付けを行います。

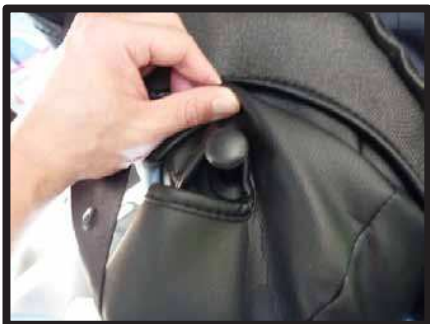


②運転席側背もたれは、シートに付いているゴムにシートベルトバックルが固定されています。バックルをゴムから外します。
※助手席側は無し



③カバーの加工穴から①で外したベルトを通します。

2列目背もたれ続き



④シート全体にカバーをかぶせる前にシート内側側面のアームレスト部分を固定する金具を、カバーの加工穴から取り出します。



⑦シートベルトが出ている台座のフチにも生地を入れ込みます。



⑤シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせていきます。



⑧背もたれ下側から生地を入れ込みます。



⑥背もたれのロックを解除するボタンのフチに生地を入れ込みます。



⑨背もたれを前に倒して、入れ込んだ生地を引き出します。生地の端に生地を引き出すためのベルトが付いていますので、そちらをつかむと生地が引き出しやすくなります。

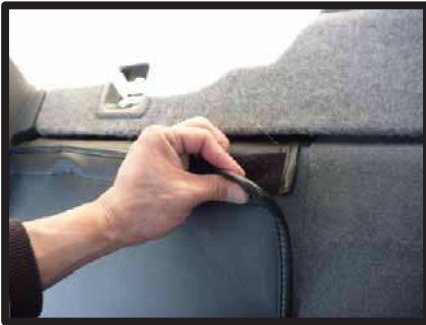
2列目アームレスト



⑩カバー外側側面のファスナーを閉じます。ファスナーは生地を内へ寄せながら、慎重に閉じるようにして下さい。



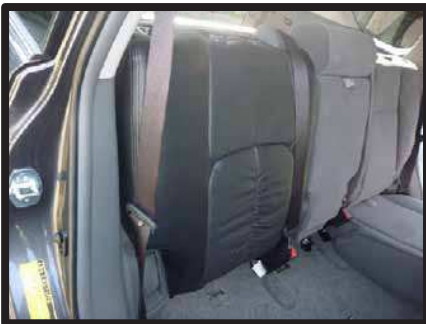
①始めにドリンクホルダーを外します。カップを外すとネジがありますのでドライバーを使用して外します。



⑪7ページの⑨で引き出した生地と、カバー背面下をマジックテープで固定します。



②ドリンクホルダーは①のネジと、丸印部分の3箇所にクリップで固定されていますので、上へ引き抜くように外します。



⑫カバーのラインを整えて2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側は一部形状が異なりますが同様の固定方法で取り付けを行います。



⑬カバーをアームレスト先端からかぶせます。

2列目アームレスト続き



④アームレスト下の隙間に生地を入れ込みます。



⑦⑤で引き出した生地とアームレスト表面の生地をマジックテープで固定します。



⑥アームレストを倒して入れ込んだ生地を引き出します。



⑧ドリンクホルダーのクリップがはまる穴にカバーの加工穴を合わせます。



⑥アームレスト付け根部分のファスナーを閉じます。生地を矢印の方向へ寄せながら慎重に閉じて下さい。



⑨ドリンクホルダーを元に戻します。

ヘッドレスト



⑩ 2列目アームレストの完成です。
※シートカバーの特性上、矢印部分がアームレストを起こす際に生地が引っかかる場合があります。アームレストを起こす際に注意して起こされるか、矢印部分の生地裏に両面テープを貼り付け、アームレスト本体に固定するなどの対処をお願いします。



⑪アームレストを背もたれ側に起こした状態です。



⑫アームレストを固定しているシート裏に、図の様にタグで20AR中央と印字している平らなパーツを、シートの形状に合わせてマジックテープでシートに直接貼り付けて固定します。— 10 —



① 1列目ヘッドレストです。
平らなプラスチック部品が付いている方が前になります。カバーを半分ほど折り返してヘッドレスト先端までしっかりとかぶせます。



②カバーを左右均等に引き下げ、ヘッドレスト全体にかぶせます。



③ヘッドレストを背もたれから外します。ヘッドレスト裏でプラスチックのフックを固定します。

ヘッドレスト続き



④プラスチックのフックは断面図のように、カギ状のプラスチックに平らなプラスチック部分を生地と共に折り返してはめ込み、固定します。



⑦2列目ヘッドレストは図のようにヘッドレスト下側にカバーを引っ掛けるようにして矢印方向へとかぶせていきます。



⑤ヘッドレスト裏は図のように収まります。



⑧固定方法は1列目と同様に行いません。
2列目サイドのヘッドレスト完成です。



⑥ヘッドレストを背もたれに戻し、カバーのラインを整えて1列目ヘッドレストの完成です。



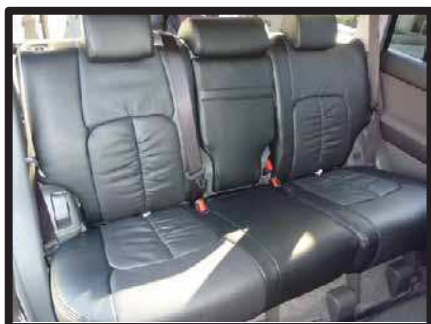
⑨2列目中央ヘッドレストも同様に取り付けます。

完成図

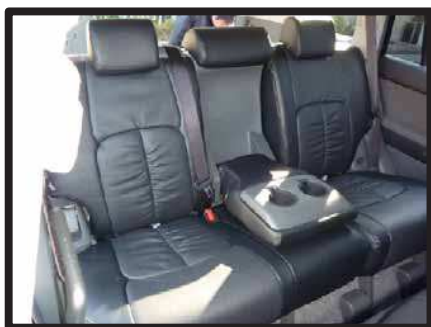


1 列目

。

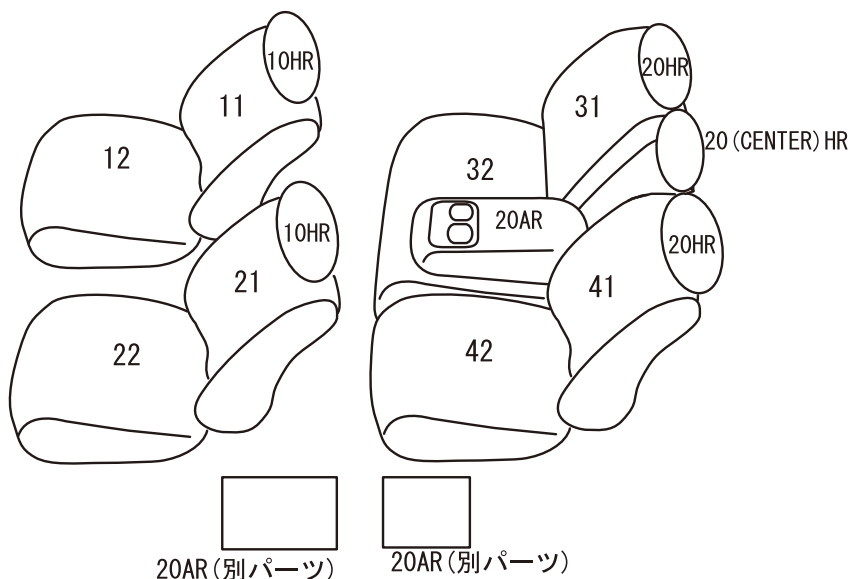


2 列目・1

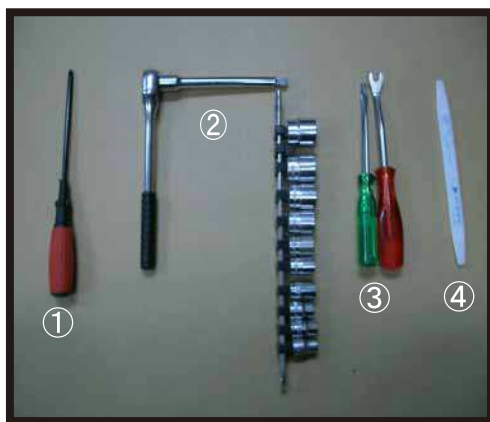


2 列目・2

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



工具名

- ①＋ドライバー
- ②ソケットレンチセット
- ③ードライバーまたは内張り外し
- ④ヘラ

*この車種では、①、②の工具を使用します。

*この車種では、③の工具は使用しません。